

令和2年度 ニシン漁獲物調査速報(4)

1～3月に実施しているニシン漁獲物調査の結果を随時お知らせしています。
2月15日に小樽地区で出荷されたニシンの漁獲物調査を実施しましたので、結果をお知らせします。小樽市漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲状況

小樽地区では2月13日に銭函で群来がみられました。また、2月15日の出荷は14.5トンと今期一番の水揚げとなり、ようやく漁獲が本格化してきました。銘柄は①番手が最も多い(65%)ですが、前回(2月2日)より②番手の割合(33%)が高くなりました。

2. メスの完熟率(表1)

今回測定したメスは全て完熟状態でした。ただし、「子ヌケ」銘柄の出荷もあることから、産卵後の個体も混獲されているようです。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

今回の標本も前回(2月2日)と同様、ほとんどが尾叉長30cm以上(平均体重354g)の大型個体でした。年齢組成は、5年魚(2016年級)が全体の41%で最も多く、次いで6年魚(2015年級)が37%、4年魚(2017年級)が20%、7年魚以上が2%であり、前回と比べ7年魚以上が減少し、6年魚が増加しましたが、それ以外は大きく変わりませんでした。

表1 ニシン漁獲物調査結果

銘柄	①	②	③	その他	合計
漁獲重量(kg)	3,405	1,725	145	9,176	14,451
漁獲尾数	9,109	5,213	573		-
測定尾数	14	17	21		52
平均尾叉長(mm)	318	311	289		315
平均体重(g)	374	331	253		354
メスの割合	50%	35%	24%		44%
メスの完熟率*	100%	100%	100%		100%

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの割合

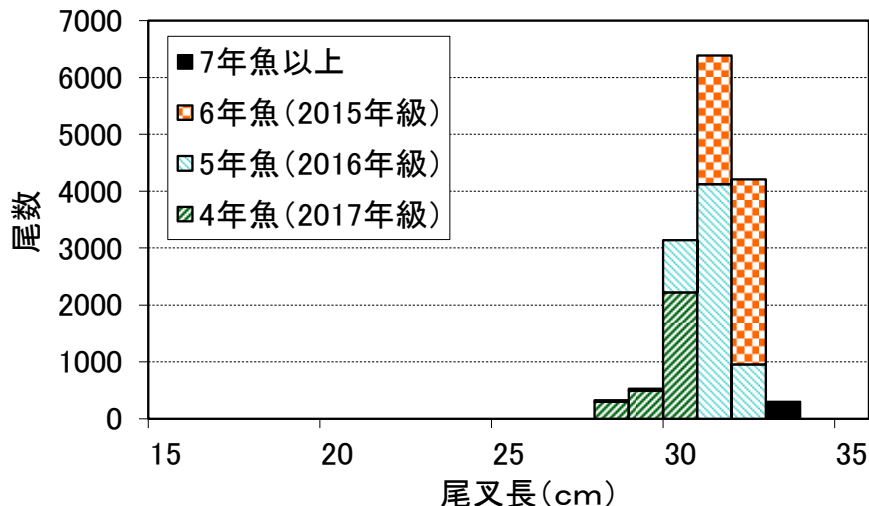


図1 2021年2月15日小樽地区 年齢別尾叉長組成